

報道関係者各位

2014年11月21日

アットホーム株式会社

**トレンド調査　—住宅購入時の「親の資金贈与」実態調査—**

子供へ住宅購入資金を贈与した親300名、贈与していない親300名にアンケート

**購入資金を贈与した親 平均贈与額 564万円**

**親子が同じ居住地域だと贈与額増える傾向**

**贈与しない理由 1位「お互い自立していたいから」**

不動産情報サービスのアットホーム株式会社(本社:東京都大田区、代表取締役:松村 文衛)は、子供が住宅を購入した際に、購入資金を贈与した親300名、贈与していない親300名を対象に、住宅購入時の「親の資金贈与」実態調査を実施いたしました。

主な結果は以下の通りです。

**<主な調査結果>**

**◆住宅購入資金を贈与した親 平均贈与額 564万円。親子が同じ居住地域だと贈与額増える傾向**

子供が住宅購入の際に購入資金を贈与した親300名の平均贈与額は564万円でした。子供が男性の場合では平均616万円、女性の場合は498万円となり、男性の方が100万円以上多い結果となりました。さらに、親と子の居住地が同じ都道府県かどうかで比べたところ、親子が同じ居住地に住んでいる方が平均贈与額が多く、642万円でした。居住地が違う親子は、親からの平均贈与額は439万円と、203万円の差が付きました。

**◆贈与した理由 1位「より良い生活を送って欲しい」 2位「贈与税の非課税制度があるから」**

贈与した親に、贈与した理由について聞いたところ、1位「子供に、より良い生活を送って欲しいから」、2位「住宅購入時は、贈与税の非課税制度があるから」、3位「子供に、楽をさせたいから」となりました。

**◆贈与しない理由 1位「お互いに自立していたいから」**

贈与していない親に、その理由を聞いたところ、1位「『自分は自分、子供は子供』お互いに自立していたいから」、2位「自分の資金に余裕がなかったから」、3位「子供がお金が必要としていなかったから」という結果になりました。

**<調査概要>**

◆対象／全国の、子供が住宅を購入した際に、購入資金を贈与した親300名と、贈与していない親300名の計600名。

◇性別

男性	69.0%
女性	31.0%

◇年齢

平均	64.6歳
----	-------

◇子供の人数

平均	2.2名
----	------

◆調査方法／インターネットリサーチ

◆調査期間／2014年10月31日(金)～11月4日(火)

## <調査結果>

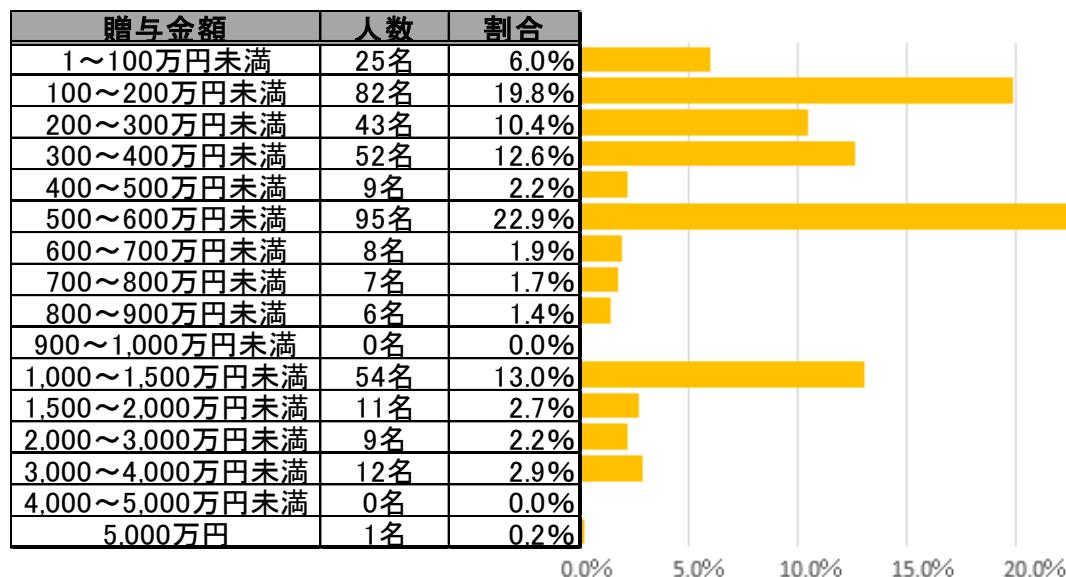
### ■住宅購入資金を贈与した親 平均贈与額 564 万円。親子が同じ居住地域だと贈与額増える傾向

Q. お子様が住宅購入の際に、あなたが贈与した購入資金の金額を教えてください。(対象:300名、有効回答:300名)

贈与した子供	平均贈与額					
	全体	男	女			
	414名	231名	183名			
第1子	231名	135名	96名	553万円	634万円	439万円
第2子	156名	83名	73名	589万円	585万円	893万円
第3子	26名	13名	13名	513万円	626万円	400万円
第4子	1名	0名	1名	600万円	---	600万円
第5子	0名	0名	0名	---	---	---

子供が住宅購入の際に購入資金を贈与した親 300 名の平均贈与額は 564 万円でした。子供が男性の場合では平均 616 万円、女性の場合は 498 万円となり、男性の方が 100 万円以上多い結果となりました。

#### ◇贈与額の分布



贈与額の分布で見ると、「500 万円以上 600 万円未満」の割合が 22.9% と最も多く、次いで「100 万円以上～200 万円未満」が 19.8%、「1,000～1,500 万円未満」が 13.0% となっています。

#### ◇親子の居住地別の贈与額

贈与額	親子が同じ居住地			親子が別の居住地		
	全体	男	女	全体	男	女
	人数	255名	127名	128名	159名	104名
642万円	721万円	563万円	439万円	487万円	348万円	

さらに、親と子の居住地が同じ都道府県かどうかで比べたところ、親子が同じ居住地に住んでいる方が平均贈与額が多く、642 万円でした。居住地が違う親子は、親からの平均贈与額は 439 万円と、203 万円の差がありました。

贈与額は、“女性”よりも“男性”的子供の方が、そして、“親子同じ居住地”的方が多い傾向がうかがえます。

## ■貯金額 贈与した親 平均 2,339 万円、贈与していない親 1,128 万円

Q. 夫婦の現在の、貯金額(有価証券含む)、月収、生活費を教えてください。(対象:600名、有効回答:548名)

	人数	貯金額 平均	月収 平均	生活費 平均
贈与した親	267名	2,339万円	35万3千円	26万0千円
贈与していない親	281名	1,128万円	33万4千円	24万5千円

贈与した親 300名と、贈与していない親 300名に、現在の貯金額や月収、生活費を聞いたところ、月収や生活費の差は約2万円程度でしたが、貯金額は、贈与した親 2,339万円、贈与していない親 1,128万円と1,211万円の差がありました。ちなみに、「子供の住宅購入を見越して、贈与するために計画的に貯金をしていたか」という質問には、贈与した親のうち28.3%が「貯金していた」と答えています。

## ■贈与した理由

1位「より良い生活を送って欲しい」、2位「贈与税の非課税制度があるから」

Q. お子様が住宅購入する際、お金を贈与した理由を教えてください。(対象:300名、有効回答:300名、複数回答)



贈与した親に、贈与した理由について聞いたところ、1位「子供に、より良い生活を送って欲しいから」、2位「住宅購入時は、贈与税の非課税制度があるから」、3位「子供に、楽をさせたいから」となりました。

その他、9位「気兼ねなく、子供の住宅に遊びに行きたいから」9.3%、11位「老後の世話をしてもらえることを期待して」5.0%、12位「将来、子供の住宅に住みたいと思っているから」1.7%と、少数ですが、子供からの見返りを期待している方もいるようです。

## ■贈与しない理由 1位「お互いに自立してみたいから」、2位「資金に余裕が無かったから」

Q. お子様が住宅購入する際、お金を贈与しなかった理由を教えてください。

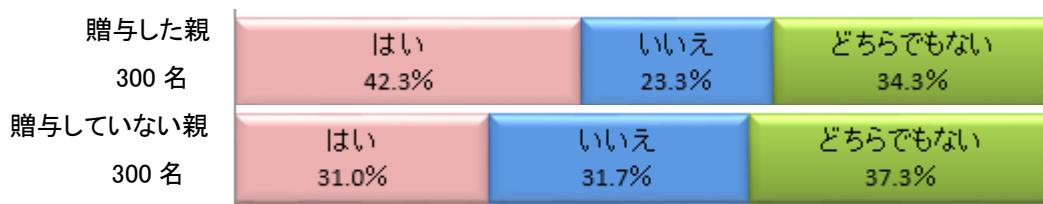
(対象:300名、有効回答:300名、複数回答)



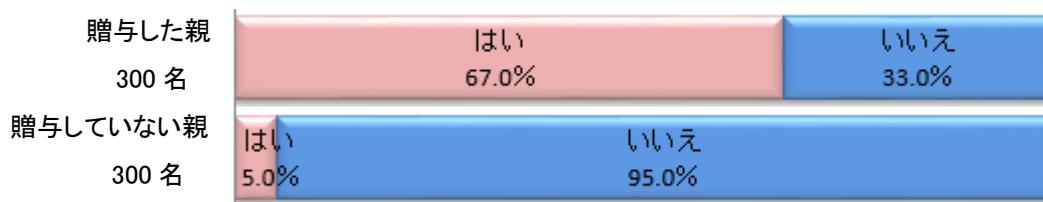
贈与していない親に、その理由を聞いたところ、1位「『自分は自分、子供は子供』お互いに自立してみたいから」、2位「自分の資金に余裕がなかったから」、3位「子供がお金を必要としていなかったから」という結果になりました。

## ■贈与した親、「自ら贈与を切り出した」67.0%

Q. あなたのお子様に資産を残したいと思いますか？(対象:600名、有効回答:600名)



Q. あなたは、お子様が住宅購入する際、自分からお金の贈与の話を切り出しましたか？(対象:600名、有効回答:600名)



Q. お子様が住宅購入する際、お金を出して欲しいと、お願いされましたか？(対象:600名、有効回答:600名)



贈与した親の67.0%が自ら資金の贈与を切り出しており、子供から贈与をお願いされた親は30.3%でした。住宅購入の際の贈与は、親から積極的に動くケースが多いようです。

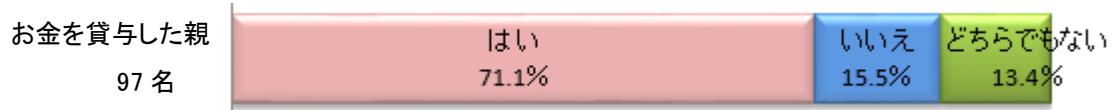
## ■ 「住宅購入の際、子供にお金を貸した」 贈与した親 22.7%、贈与していない親 9.7%

Q. あなたのお子様が住宅購入する際、お金を貸しましたか？(対象:600名、有効回答:600名)



Q. あなたのお子様が住宅購入する際、お子様に貸したお金は、万が一、返してもらわなくともいいですか？

(対象:97名、有効回答:97名)



贈与ではなくお金を貸したかも聞いたところ、贈与した親の 22.7%が、貸与もしていました。また、贈与していない親でも 9.7%は、貸与をしていることがわかりました。

また、資金を貸した親の 71.1%は「万が一、返してもらわなくとも良い」と考えています。

## ■ 住宅購入の際に貸した金額 平均 562 万円

Q. あなたのお子様が住宅購入する際、貸したお金は、いくらですか？(対象:97名、有効回答:97名)

	貸与した子供の人数	貸与した金額 平均
贈与も貸与もした親(68名)	92名	570万円
贈与はしていないが、貸与した親(29名)	33名	539万円

貸与した金額の全体平均は 562 万円で、贈与も貸与もした親では平均 570 万円、贈与はしていないが貸与はした親は、平均 539 万円でした。